

心のまなざし 3月号

令和4年2月28日発行 認定こども園様似町立幼児センター

冬のなごりと春の訪れを感じる季節

元気に遊び、はつらつと過ごす子どもたち～2月の子ども達の様子～

1月末から適用となった新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が3月6日までの延長となりました。残念ながら予定していた行事の延期や中止といった対応を取らざるを得ない状況となりましたが、保護者の皆さまには、お子さんの感染予防対策の励行や健康管理に留意していただき感謝申し上げます。

2月に入ると、日差しの暖かさに戸外活動でも汗をにじませ元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿がありました。少雪の地域ではありますが、各クラス工夫しながら冬の遊びを楽しむことができました。

令和3年度も残り1か月となりました。5歳児クラスの子ども達は卒園に向けた取組も大詰めを迎えております。4月からの小学校生活へ思いをはせながら残り少ない園生活を友達や保育者と一緒楽しんでほしいと願います。



☆存分に楽しめた雪遊び☆

2月中頃には地面の土や草が見え始め、春の訪れを感じる日が続きましたが、再びまとまった雪が積もり始め、子どもたちの雪遊びも大変盛り上がるようになりました。

3歳以上児クラスでは、色水を雪に混ぜて色の変化を楽しみながらのスイーツづくり、保育者とともに周辺の雪を集めて複数人が入れる大きさのかまくらづくりにも挑戦できました！



☆節分…元気に鬼退治できました！！☆

コロナ対応のため、規模を縮小した各クラスでの豆まきとなりました。各クラスごとに鬼が苦手とされる「柊の葉」「いわしの頭」を折り紙で表現し、魔除けとして保育室のドアに飾り、鬼が登場すると必死に豆(新聞紙ボール)をぶつけて鬼退治できました。

無事に鬼退治できたので、福の神に扮した担任によるおやつまきでは、どの子も笑顔でおやつをひろい友達と喜び合う様子がありました。



☆一日入園☆

令和4年度入園予定の小さなお友達が幼児センターへ遊びに来てくれました。3歳児クラスでの保育体験では、保護者から離れ、好きな遊びを見つけて楽しむ姿が見られました。

5歳児クラスのおにいさん、おねえさん達からは手作りペンダントが手渡され、ハイタッチをして笑顔で交流する様子が微笑ましかったです。



来年度3歳児クラスへ進級する2歳児クラス(さくら組)の子ども達も、一日入園に先駆けて3歳児クラスでの保育体験を楽しみました。

1つ年上のおにいさん、おねえさんの優しいリードがあり、じっくり楽しく遊びこめたようです。

最近の遊びの様子には、お友達と言葉で思いを伝え合い、継続して遊びこむ様子が多くなると、担任も子どもたちの成長を喜んで見守っています。



☆なわとび、コマ、けん玉を

継続して挑戦している4歳児クラス☆

昨年末の発表会の取組以来、継続して縄跳び、コマ、けん玉に挑戦し続け、はつらつと楽しむ様子が見られています。子どもたちの熱意を踏まえ、集中して練習できる環境を担任が整えているので、どの子も自分の目標に向かって頑張っています。練習中職員が通りかかると「せんせい、みてみて!」と練習の成果を披露してくれる子どもたちの様子から、この活動への意欲の高さ、向上心をもって頑張れる気持ちの成長がうかがえ、うれしく見守っています。



☆5歳児クラス…園生活の総仕上げ!卒園記念の取組と「もじかずタイム」☆

3学期に入り、5歳児クラスでは卒園記念文集、卒園記念製作の取組を頑張りました。文集づくりでは、自分のプロフィールや園生活の楽しかった思い出などを担任と一緒に書きました。卒園記念製作は、園生活で親しんだ身近な自然環境をテーマに、折り紙、切り紙表現を楽しみました。どちらの取組も、子どもたちが楽しみながら頑張っていたと、担任がうれしそうに話していました。

写真右のもじかずタイムの様子は、数の単元のゲーム遊びを楽しんでいるところです。赤白2色のビーズ5枚をケースの中にばらまいて、並んだ赤白の数を対戦相手に言葉で伝え、その数に見合ったタイルをもらうゲームを繰り返し赤白タイルの数を競いました。